

はしがき

第 I 部 理論・分析視角

第 1 章 国際政治経済学とは	3
—国家と市場の関係からみる国際秩序—	
1 国際政治経済学とは	3
2 国際経済体制の変遷と国際政治経済学の登場	3
3 国際社会における国家, 政治と市場メカニズム	7
4 グローバル化する国際社会と国際政治経済学	11
第 2 章 リアリズム	15
—富とパワー—	
1 リアリズムと重商主義	15
2 貿易自由化の進展と新重商主義	18
3 ポスト冷戦期における市場のグローバル化と国家	20
4 安全保障化する経済と脱グローバル化の動き	24
第 3 章 リベラリズム	27
—自由と効率性の追求—	
1 リベラリズムの世界観と古典的リベラリズム	27
2 戦後の国際的な資本主義経済体制とリベラリズム	30
3 新自由主義の台頭	32
4 新自由主義への批判	35
5 グローバル化の再評価と新たなリベラリズム	37

第4章	マルクス主義	39
	—— 経済・社会構造への注目 ——	
1	マルクス主義の世界観	39
2	国際社会における経済格差	40
3	経済開発をめぐる南北対立	42
4	途上国の様々な問題と開発支援アプローチの変化	46
5	国際政治経済秩序へのアプローチ	49
第5章	コンストラクティビズム	52
	—— 観念的要素への注目 ——	
1	コンストラクティビズムの世界観	52
2	国家のアイデンティティと国際関係	55
3	社会構造としての国際規範	58
4	国際政治経済学における国際規範・政策アイデアの例	61

第II部 アクター

第6章	国家	67
1	主権国家の確立と経済政策	67
2	産業革命以降の経済と国家	68
3	冷戦期における国際経済と国家	71
4	冷戦終結後のグローバル経済と国家	75
5	脱グローバル化の動きと国家	77
第7章	国際機関	79
1	変容する国際秩序と国際機関の設立	79
2	グローバリゼーションの中の国際機関	81
3	様々な国際機関と期待される役割	83
4	国際秩序の安定と国際機関の課題	87

第8章 企業	90
1 国際経済における企業	90
2 国際政治経済学における企業	92
3 多国籍企業をめぐる問題事例	94
4 多国籍企業に対する規制の強化	98

第9章 市民社会と NGO	103
1 国際社会のアクターとしての NGO	103
2 国際社会における NGO の歴史的展開	106
3 NGO が活躍する主な領域と活動内容	108
4 NGO が活躍していく上での課題	111

第Ⅲ部 国際政治経済の制度と構造

第10章 国際貿易	117
—— GATT / WTO 体制から FTA の時代まで ——	
1 埋め込まれた自由主義	117
2 GATT から WTO 体制への移行	120
3 WTO 体制の行き詰まりから FTA の時代へ	123
4 反グローバリズム運動	126

第11章 国際金融	130
—— プレトンウッズ体制から現在の国際金融体制まで ——	
1 戦後国際通貨制度の成立	130
2 IMF の役割	135
3 ドル危機と変動相場制への移行	136
4 グローバル・インバランスの問題	137
5 基軸通貨ドル体制の変容	141

第12章 産業構造	143
——工業化とグローバル・バリューチェーン——	
1 産業構造とは何か	143
2 世界市場の形成と産業構造変化	145
3 GATT 体制下の産業構造変化	148
4 WTO 体制の確立と産業構造変化	151
第13章 エネルギー	156
——変化するエネルギーと資源争奪戦の転回——	
1 エネルギー革命	156
2 流体革命とエネルギー安全保障の誕生	157
3 石油危機と国際石油取引レジームの変容	158
4 エネルギー取得可能性と地球温暖化対策	162
5 再生可能エネルギーの課題とウクライナ危機	164
第14章 知的財産権	168
——見えない財産の世界的分配——	
1 知的財産権と国際関係	168
2 TRIPs 協定の制定とその後	169
3 近年の国際知的財産制度をめぐる動向	174
4 新興国の台頭と各国の知的財産政策	178
第15章 情報通信技術	181
——デジタル時代における民主主義と非民主主義のゆくえ——	
1 情報通信技術が国際社会に与える影響	181
2 インターネットをめぐる歴史的展開	183
3 インターネットによる政治的な影響	187
4 AI 時代の国際社会が抱える新たな課題	190

第IV部 国際政治経済の課題

第16章	市場統合・自由貿易	195
1	米中対立下でのメガFTA	195
2	グローバル・バリューチェーンの影響	197
第17章	金融危機・通貨危機	200
1	「金融のグローバル化」	200
2	アジア通貨・金融危機	201
3	リーマン・ショック	202
4	ユーロ危機	203
5	金融危機に向けて	204
第18章	貧困・経済開発	205
1	戦後復興とブレトンウッズ体制としての経済開発	205
2	途上国支援アプローチの変化	205
3	拡大する貧困と UNDP	206
4	ミレニアム開発目標と持続可能な開発目標	206
第19章	移民	209
1	移民の経済効果	209
2	移民反対運動	210
3	貿易との関係	211
第20章	気候変動	214
1	気候変動対策をめぐる国際制度	214
2	パリ協定発効以降の展開	215
3	気候変動の経済的側面	216

第21章 循環型経済	218
1 「循環型経済」とは何か	218
2 「循環型経済」へ向けた取組みと課題	220
第22章 医薬品アクセス	223
1 世界における医薬品市場	223
2 途上国における医薬品アクセスの問題	224
3 新型コロナウイルスの世界的流行とワクチン格差	225
4 パンデミック後の医薬品アクセスをめぐる動き	226
第23章 労働環境	228
1 ソーシャル・ダンピング	228
2 自由貿易協定への導入	230
3 SDGs との関係性	231
第24章 エコノミック・ステイトクラフト	233
1 エコノミック・ステイトクラフトとは	233
2 安全保障と国家戦略としての制裁と援助	234
3 エコノミック・ステイトクラフトの新展開	235
第25章 情報セキュリティ	238
1 ビッグデータの時代	238
2 サイバーセキュリティの難しさ	239
3 情報をめぐる国家と企業の関係性	240
第26章 食料問題	243
1 食料安全保障からみる食料問題	243
2 食料をめぐる産業構造	244
3 包括的な食料安全保障の追求	246